



2020 年度 エシカル協会活動報告書



【団体概要】

名称:一般社団法人エシカル協会

英名称:Ethical Association

代表理事:末吉里花

理事:森敏、竹地由佳、溝口量久、秋野美穂、羽生田慶介、大久保明日奈

事務局次長:堀田三佳

事務局:鈴木志保

監事:市瀬豊和

税理士:眞鍋伸吾(ひのわ税理士法人)

顧問:山本良一

相談役:枝廣淳子

ミッション:

エシカルの本質について自ら考え、行動し、変化を起こす人々を育む。そうした人々と共に、エシカルな暮らし方が幸せのものさしとなっている持続可能な世界を実現する。

目次

1. ご挨拶.....	3
2. 2020年活動の振り返り.....	7
2-1. 2020年春・秋エシカル・コンシェルジュ講座.....	7
2-2. 変化の理論講座.....	12
2-3. 英語絵本の出版.....	14
2-4. 講演・トークショー・メディア取材.....	15
2-5. 行政機関との連携・取組.....	16
2-6. 政府への提言.....	18
2-7. 法人会員制度.....	19

1. ご挨拶

＜エシカル協会代表理事 末吉里花＞

2020年は協会設立5周年記念の年でした。5年前はほとんどの人がエシカルの言葉さえ知らない状況でしたが、時代の後押しもあり、ここ最近は巷でエシカルを見聞きする機会が非常に増えました。この5年間、活動を続けてこられたのも、私たちを支えてくださっているコンシェルジュたちや法人会員の皆さま、今まで繋がりがあったすべての方たち、協会理事、監事、会計士を含む日々仕事を頑張ってくれているスタッフみんなのおかげです。皆様、本当にありがとうございます。

コロナ禍において、多くの人たちが自分の暮らしと向き合い、本当に必要なものはなにかを見極め、「みえない繋がり」を意識する日々を過ごしたからか、エシカルに対する関心度が高まっているように感じます。私としては2020年を「エシカル元年」と呼びたいです。エシカルを広めていく土壌がようやく整い、やっとスタートラインに立った、という気持ちでいます。

今後は協会として、私たち市民、消費者の声を企業だけでなく、日本の社会のシステムや法律、制度などを作っている政府などに向けてより積極的に伝えていく役割も担い、エシカルな暮らしが幸せのものさしとなるような持続可能な世界の実現に努めてまいります。

今後もぜひエシカル協会の仲間として、共に歩んでいただけたら嬉しいです。



＜理事 森敏＞

私たちは、エシカルの本質について自ら考え、行動し、変化を起こす人々を育み、そうした人々と共に、エシカルな暮らし方が幸せのものさしとなっている持続可能な世界の実現を目指して活動をしています。2020年は、地球上に今日生存する人類が初めて経験するパンデミックにおける健康被害だけでなく、誤った情報拡散による買い占めや差別など世界中で抱える人権問題も浮き彫りとなった1年でもありました。

このような中、完全オンラインにおけるエシカル・コンシェルジュ講座を実施し、たくさんの方々に受講して頂くことができました。皆さまと時間を共にし、学びを深め、あらためて私たちの活動の意義を再確認する機会となりました。また、オンラインにおける法人会員ミーティングでは、コロナ禍において未来へ挑戦を続け

る企業と企業のつながりの場をつくる事ができました。そして、あらたに活動にご賛同頂ける法人会員を増やすこともできました。これもひとえに皆様のご支援、ご愛顧の賜物と心から感謝いたしております。

今後も、皆様方のご期待に添えるよう、精一杯努力してまいる所存にございます。今後とも末永くお引き立てのほどよろしくお願い申し上げます。



<理事 竹地由佳>

2018年12月から2020年10月まで育児休業を取っており、同年11月から復職しました。また協会でも働くことを嬉しく思います。コロナ禍において様々な困難に直面し、激動ともいえる中、協会を支えてくださった皆様に心より感謝申し上げます。この場をお借りして、御礼と共に、エシカルの原点に触れたような出来事を共有させていただきます。

一回目の緊急事態宣言下、私と息子二人と他の親子がいる公園に作業員がやってきて、砂場や遊具に「使用禁止」のテープが貼られていく現場に何度も居合わせました。親と作業員は不憫に思いましたが、そんな大人の心配をよそに、幼い子供たちは地面の土を掘って砂場を作り、泥と水にまみれて笑い合い、棒や石を集めることに夢中になり、遊びをどんどん創り出していきました。

物質的な豊かさに頼らず、目の前の自然から楽しみをつくっていく力は、エシカルの原点といえるのではないのでしょうか。そして、人は生まれながらにもっているのです。子ども達の澄んだ眼差しは、私たち大人にエシカルな生き方を思い出させてくれます。そんな子ども達の美しい未来のためにも、皆様と一緒に行動と挑戦をし続けていきたいと思っております。



<理事 羽生田慶介>

平素エシカル協会を御支援くださりまして有難うございます。2020年はコロナ禍の中において苦しみを共有しつつも、いよいよエシカル消費に対する意識が高まる実感を得た一年でした。例えば2020年10月に新政権が「2050年カーボンニュートラル宣言」と「ビジネスと人権に関する国別行動計画(NAP)」を発信したこ

とは、実は大きな一歩です。これに呼応して、消費者の脱炭素への関心は大きく高まっていますし、「人権」というキーワードを有価証券報告書の経営方針や事業リスクの欄に記載した企業はこの一年でほぼ倍増しました。

そしていよいよ今年 2021 年からは中学校の教科書に「エシカル消費」が入ります。エシカル・コンシェルジュやその他の協会活動で一緒くださっている個人・法人のエシカル協会の仲間の取り組みが、益々世の中から求められるステージに入ろうとしています。一つ一つの「この指とまれ」がこれまで以上に大きな力になる確信をしています。

重ねて、前例がないほどの大変な生活環境・経営状況の一年にエシカル協会を支えてくださった皆様に厚く御礼申し上げます。2021 年の新たな活動にもお力添えお願い致します。



<理事 大久保明日奈>

いつも我々エシカル協会の活動をご支援いただきまして、感謝申し上げます。2020 年は、多くの皆さまにとって忘れることのできない大きな変化の一年であったかと思います。コロナ禍によって、今までの当たり前がそうではなくなり、私たちの行動様式は大きく変わりました。その中でもエシカル協会の活動を進めていくことができましたのも、ひとえに皆さまのご支援のおかげです。

協会の活動の観点でも、2020 年は大きな変化と挑戦の時期でした。エシカル・コンシェルジュ講座はオンラインへ移行し、多くの皆さまにご受講いただくことができました。法人会員制度に関しても、日頃ご支援いただいている法人会員の皆さまに学びと繋がりをご提供する場として、法人会員ミーティングを本格的に運営するようになりました。また、「エシカル」についてお話をする場面も、より増えてきたと実感しております。

2020 年に皆さまからいただいたご縁と機会に感謝するとともに、2021 年もより多くの方々に「エシカル」についてお伝えしていくことを通じ、エシカルな暮らしが幸せのものさしとなるような持続可能な世界の実現を目指して参ります。



<事務局次長 堀田三佳>

2020年、この記憶に残る一年において、コロナ前よりも更に加速してエシカル普及につとめてこられたのも、皆さまのお力添えがあったからと、心より感謝申し上げます。

私は主にエシカル・コンシェルジュ講座の企画運営を行っています。昨年、リアル会場で開催していた講座をやむなく延期し、オンラインへ切り替え、再スタートとなりました。この移行には、様々な壁もありましたが、今年度、2期の講座を無事オンライン開催し、海外、地方からも含め1000名を超える多くの皆さまに受講いただけたことは大変嬉しい事で、それと同時に、まさに今エシカルの関心が高まっている現れであると実感しました。

私たちは、この期間に多くの気づきを得たように思います。そのひとつは「考える」こと。これまで当たり前だった(だと思っていた)通勤、仕事、暮らしのあり方。これら多くを見直し、考え、工夫が生まれました。この繰り返し行ってきた「考える」ことこそが、未来の子どもたちにより良い地球を繋げていくために、そして、人としての本当の豊かさ気づくためにも必要なことだと感じています。

私たち協会は、これからも「考える」機会を提供し続け、全国にいる仲間とともに、子どもたちの笑顔あふれる未来を創っていきたいと思います。



<事務局 鈴木志保>

「2020年」は世界中の人が忘れることのできない1年になったのではないのでしょうか。私共も緊急事態宣言を受け、協会として今後どのように活動を行っていくべきかを何度も話し合いを重ね、「どういう状況下であってもエシカル普及の歩みを止めてはいけない」という想いを胸に歩んできた1年となりました。

今回の状況から学んだ多くのことをコロナ終息後も忘れることなく、よりよい社会へ変化していけるよう協会スタッフ一同、邁進して参ります。

今後ともご指導ご鞭撻を賜りますよう心からお願い申し上げます。



2. 2020 年活動の振り返り

2-1. 2020 年春・秋エシカル・コンシェルジュ講座

<講座概要>

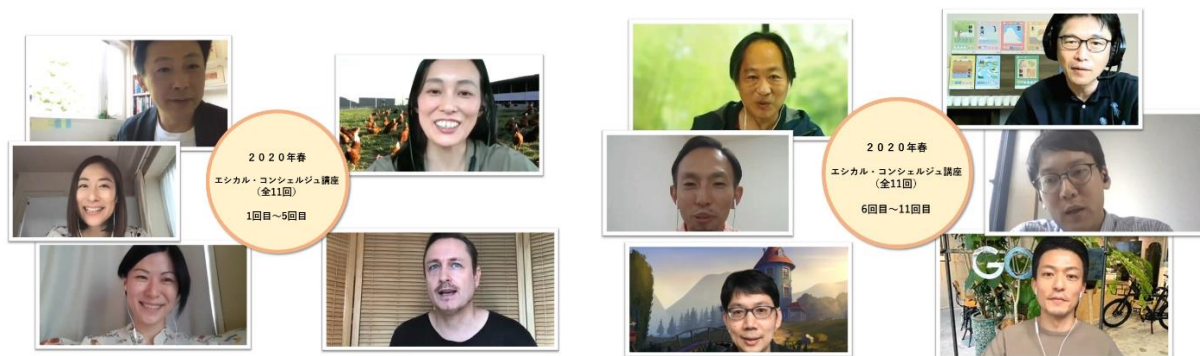
気候危機、人権侵害、児童労働、貧困問題、生物多様性の損失など、あらゆる問題が深刻化する中、私たちは一体どうやってこの現状と向き合えば良いのだろうか、と不安になる人がいるかもしれません。実はエシカルな(倫理的な)考え方を学ぶことで、現実としっかりと向き合い、解決し、変化を起こす力を培うことができます。

エシカルな考え方の中には、フェアトレード、オーガニック、サステナビリティ、動物福祉、リサイクル、環境再生型農業、自然エネルギー、エシカル金融、SDGs など様々な分野があり、講座を通じてそれぞれを学び、できることから暮らしの中で実践することで、世界が抱える課題を改善に導き、「いいあんばい」な世の中を築く力になれます。

エシカル・コンシェルジュは、小さなことでも行動に移す実践者のことを指します。

エシカル協会のミッションは、エシカルの本質について自ら考え、行動し、変化を起こす人々を育み、そうした人々と共に、エシカルな暮らし方が幸せのものさしとなっている持続可能な世界を実現することです。どんな人も、学ぶというアクションをとることで、変化の担い手の一歩を踏み出すことができます。エシカルな暮らし方が幸せなものさしとなっている世界を作るための、学び繋がる機会を作る講座です。

<2020 春・講師とテーマ>



第1回 5月22日

【エシカルな未来への教育とは～予測不可能な時代を生きるための学びのエッセンス～】

永田佳之さん(聖心女子大学現代教養学部教育学科教授、聖心女子大学グローバル共生研究所副所長)

第2回 5月29日 【エシカルの基礎】

末吉里花(一般社団法人エシカル協会代表理事)

第3回 6月12日 【ごみから辿るエシカル】

坂野 晶さん(一般社団法人ゼロ・ウェイスト・ジャパン 理事)

第4回 6月19日 【エシカル消費と動物への配慮とは】

岡田千尋さん(認定 NPO 法人アニマルライツセンター代表理事)

第5回 6月26日

【Sustainability in Reality – サステナビリティを形にしよう！～スウェーデンとザンビアでの取り組み～】

ペオ・エクベリさん(株式会社ワンプラネット・カフェ代表取締役社長)

第6回 7月3日

【エシカルな電気を産み出すソーラーシェアリング～この切実な気候変動のリアルな解決にむけて～】

東光弘さん(市民エネルギーちば株式会社 代表取締役)

第7回 7月10日 【パタゴニアのビジネス:気候変動を緩和するためにできること】

佐藤潤一さん(パタゴニア日本支社 環境・社会部門シニアディレクター)

第8回 7月17日 【奪い合う社会とわけ合う社会】

新井和宏さん(株式会社 eumo 代表取締役ソーシャルベンチャー活動支援者会議(SVC)会長)

第9回 7月24日【エシカルな水利用とは何か】

橋本淳司さん(水ジャーナリスト/アクアスフィア・水教育研究所代表)

第10回 7月31日【グリーンウォッシュに騙されないために～哲学者から見た資本主義～】

斎藤幸平さん(経済思想家。大阪市立大学大学院経済学研究科准教授。)

第11回 8月7日【エシカルを拓めるには? ～社会を動かすメッセージの作り方～】

砥川 直大さん(The Breakthrough Company GO クリエイティブ・ディレクター)

<2020 秋・講師とテーマ>



第1回 10月17日【地球とのパートナーシップ】

竹村真一さん(京都芸術大学教授、NPO 法人 ELP 代表)

第2回 10月24日【私たちの選択が未来を変える～エシカルの基礎～】

末吉里花 (一般社団法人エシカル協会代表理事)

第3回 11月8日

【東京都檜原村から届ける未来をつくるオンラインライブ授業～エシカル × SDGs × 産官学 ～】

山藤旅聞さん(新渡戸文化高等学校 統括校長補佐(一社)Think the Earth SDGs for School アドバイザー)

第4回 11月14日【エシカル消費と動物への配慮とは】

岡田千尋さん(認定 NPO 法人アニマルライツセンター代表理事)

第5回 11月22日【エシカルな水利用とは何か】

橋本淳司さん(水ジャーナリスト/アクアスフィア・水教育研究所代表 武蔵野大学客員教授)

第6回 12月12日【ピンチはチャンス!! エシカル電気で未来を作る!!】

東光弘さん(市民エネルギーちば株式会社 代表取締役)

第7回 12月20日【その1円が社会や未来を変える?!】

吉高まりさん（三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社 経営企画部副部長
プリンシパル・サステナビリティ・ストラテジスト）

第8回 1月9日【社会を再構築するソーシャルビジネスの作り方 ～社会起業家たちの挑戦～】

田口一成さん（株式会社ボーダレス・ジャパン代表取締役）

第9回 1月16日【自立分散型社会の実践者～土・野菜・人を巡る循環の仕組み～】

たいら由以さん（ローカルフードサイクリング代表取締役）

小野邦彦さん（株式会社坂ノ途中代表取締役）

第10回 1月30日【脱成長が切り開く、本当にエシカルな社会】

斎藤幸平さん（経済思想家・大阪市立大学大学院経済学研究科准教授）

第11回 2月14日【エシカルを拓めるには? ～社会を動かすメッセージの作り方～】

砥川直大さん（The Breakthrough Company GO クリエイティブ・ディレクター）

<受講者数(延べ人数)>

2020 春講座 一般 555 名 学生 31 名

2020 秋講座 一般 448 名 学生 17 名

<受講生の感想(一部抜粋)>

- ・ これまでは自分なりに学びながら、人・社会・地球によいとされることを実践しつつも、本当にこれでいいのかと常に自問自答していました。もう間に合わないのではないかという絶望感や、こんなことを一人がやって何になるのかという諦め、何かをやる・買うにしてもトレードオフの関係に罪悪感を感じ、ネガティブな感情に押しつぶされそうになることもありました。
ですが、この講座で、自分の今後のあり方の土台となるキーワードやヒントを得ることができ、進むべき方向性が少しずつ見えてきました。
- ・ 同じ方向に向かっていく先輩方(講師の皆様)から様々な言葉をもらえたことで、今まで自分がやってきたことは間違っていなかったんだと認められた気がして、これからも諦めずに続けていこうと決心がつけました。
- ・ 今回の講座受講を通じて、サステナブルな社会をつくっていくための自分自身のスタンスや活動の芯が固まったような気がしました。
- ・ 普段、何気なく暮らしている日常において、疑問を持たずに生きていくことの怖さを今回の講座を受講して実感しました。周りの人や自分が使っている物に興味を持ち、互いに助け合い、自然に負荷をかけ

ない生き方をそれぞれがしていく必要があることを学びました。今回学んだことを活かし実践してまいります。

<受講生の変化(一部抜粋)>

- ・ 地元で計り売りの小さなショップを開業した方。
- ・ エシカルなアイテムや情報を掲載している EC サイトを運営し始めた方。
- ・ 地元でビーチクリーンをはじめ、定期開催しながら仲間を増やしている方。
- ・ ママたちのグループで、エシカルなお話し会を開催。
- ・ 社食の食堂担当にケージフリー卵のことを伝えたり、社内で勉強会を開催。

2-2. 変化の理論講座

<講座概要>

変化の理論とは、それぞれのステージで起こる問題や課題をよりスムーズに、より良く変化を起こしていくための思考法です。

エシカル・コンシェルジュ講座で学びを得たあと、問題の解決のために一步踏み出そうと思いつつも、新たな悩みや不安に直面する人も少なくありません。コロナという外的要因も含め、この状況下で何をどう踏み出したら良いのか、今自身が進めているプロジェクトにエシカルの学びをどう活かしていったらいいのか。また、地域や周りの協力をどう得られるのかなど、解決のために踏み出そうとしたからこそ見えてくる壁がいくつもあるはずです。

変化の理論は、問題を俯瞰して捉える方法であり、思考の基盤になる考え方です。

家庭のことで、社会、地球規模のことで、問題の大きさは関係ありません。

今の現状を変えていきたいと願う誰もが使えるスキルです。

テーマ:「変化の理論(TOC)～変えたい気持ちをスキルにしよう！」

開催日程(全てオンライン Zoom 開催)

1 日目: 9 月 26 日(土)

基礎(変化の理論、自分の創り出したい変化を考える)

2 日目: 9 月 27 日(日)

練習(システム思考、ループ図描き方)

3 日目: 10 月 3 日(土)

実践(個人ワーク、取り組む課題と現実の課題状況を明確にする)

4 日目: 10 月 4 日(日)

発表(各受講生の発表、講師からの講評)

講師: 枝廣淳子さん(大学院大学至善館教授、幸せ経済社会研究所所長)

東京大学大学院教育心理学専攻修士課程修了。『不都合な真実』(アル・ゴア氏著)の翻訳をはじめ、環境・エネルギー問題に関する講演、執筆、企業の CSR コンサルティングや異業種勉強会等の活動を通じて、地球環境の現状や国内外の動きを発信。持続可能な未来に向けて新しい経済や社会のあり方、幸福度、レジリエンス(しなやかな強さ)を高めるための考え方や事例を研究。「伝えること」で変化を創り、「つながり」と「対話」でしなやかに強く、幸せな未来の共創をめざす。心理学をもとにしたビジョンづくりやセルフマネジメント術でひとり一人の自己実現をお手伝いするとともに、システム思考やシナリオプランニングを生かした合意形成に向けての場づくり・ファシリテーターを、企業や自治体で数多く務める。

<受講者数>

一般 14名

<受講生の感想(一部抜粋)>

- ・ 社会問題や環境問題だけにとどまらず、自分の変えたい習慣などにも適用できる思考方で目から鱗でした。まずは、身近なものに置き換えてやっています。
- ・ コロナによって、これまで通りが通用せず、働き方もあつという間に変わった。
- ・ 物事が変えやすい今学べたことは大きかった。
- ・ 「同じような問題が繰り返し起こるなら、それは人が悪いのではなく、構造に問題がある」と知ったことで、物事の捉え方が変わった。まずは、習ったループ図で構造を見る練習をしていきたい。

<受講生の変化(一部抜粋)>

- ・ 会社で企画するイベントで出るゴミの量に疑問を感じ、この学びを活かしてゴミを減らすイベント開催について会社に提案し、プロジェクトを任せられた。
- ・ 入社してくる若い社員が辞めていく。若い社員がなぜ続かないのか構造を見たときに、まだまだ取り組めることがあるとわかった。時間はかかるが、新たに見えてくる問題や課題に対してもシステム思考を使い、諦めずにより良い会社になる道を進んでいます。社内に仲間もでき頑張っています。
- ・ 小学校教員をしています。コロナにより学校が抱える問題も大きく変わった今、物事に対し今何をすべきか優先順位を知ることができるようになった。構造を読み解く練習はまだまだ必要ですが、日々課題が変わるこの状況で闇雲に悩むことが減ったように思います。

2-3. 英語絵本の出版

2019年に代表末吉が出版したエシカルが学べる絵本『じゅんびはいいかい？名もなきこざるとエシカルな冒険』（山川出版社）の英語版が2020年9月に出版されました！大人と子どもと一緒に、エシカルやSDGsと英語が学べる絵本です。

訳してくれたのは、ICUの学生24名。彼らは、ただ単に言葉を訳すだけでなく、ストーリーの背景をものすごくよく勉強してくれました。翻訳するにあたり、様々な分野の専門家をお招きしてたくさんの勉強会を開き、学んでくれました。そういった翻訳作業にあたる背景のストーリーも、ひとつひとつの言葉から感じ取れるのではないかと思います。この英語版は、もうひとつ新たな絵本が生まれたような感覚です。この絵本がエシカルな社会を作っていく上で少しでも役に立てることを願っています。

もしご関心があれば、皆様の地元の本屋さんにご予約をいただきたいと思います（そのほうが応援消費的にはエシカル）コロナ禍で気軽に外出できない方も多いと思うので、そのような場合はぜひ下記のサイトより手にとっていただけたら嬉しいです。

<https://www.amazon.co.jp/Are-You-Ready.../dp/4634140020>



2-4. 講演・トークショー・メディア取材

2020 年も企業や自治体、教育機関、生活者の皆様に向けて、エシカル消費の講演をさせていただきました。嬉しいことに 2020 年は、代表末吉以外にも協会スタッフで講演ができる人材が増えたことです！

エシカルな考え方を広め、エシカル消費を普及させていくためにも、まずは今世界で何が起きているのか「知る」ことが何よりも大切です。同時に私たちに何ができるのかを学ぶことも大事です。

様々な問題を解決するための一歩をどんな人も踏み出せるよう、今後も講演を通じて多くの方に「知る」機会を提供していきます。

<実績一覧(順不同・敬称略)>

【企業・団体】

三菱商事株式会社／株式会社ボーダレス・ジャパン／株式会社角川アスキー総合研究所／明治安田生命保険相互会社／フェアトレードカンパニー株式会社／デロイト トーマツ コンサルティング合同会社／株式会社メンバーズ／株式会社アイ・グリッド・ソリューションズ／パナソニック株式会社／海洋管理協議会／新潟県弁護士会／高岡商工会議所青年部／山梨県生活協同組合連合会／生活協同組合コープこうべ／一般社団法人ロングライフ・ラボ／一般財団法人岡山県国際交流協会／一般社団法人アース・カンパニー

【教育機関】

鶴沼高等学校／横浜市立南高等学校／福井県立三国高等学校／国際基督教大学／横浜市立大学／東北芸術工科大学／武蔵野美術大学／長崎大学／山口県立大学／上智大学／実践女子大学／ビジネス・ブレークスルー大学

【行政】

消費者庁／神奈川県藤沢市／政策局 SDGs 推進課／徳島県美馬市／愛媛県 県民環境部／海老名市立図書館

【メディア掲載実績】

NHK／BS-TBS／東京 FM／山形放送ラジオ／朝日新聞／婦人之友／PreciousPrecious／CanCam／Hanako／anan／HONEY 他

2-5. 行政機関との連携・取組

<農林水産省との連携>

農林水産省では、SDGs ゴール 12 に掲げられた「つくる責任 つかう責任」を踏まえ、2019 年 11 月に「持続可能な生産消費形態のあり方検討会」を立ち上げ、持続的な生産を支える「持続的な消費」のあり方や普及方策について、2020 年 3 月までの間、有識者による検討を行ってきました。代表末吉も検討会の委員を務め、エシカル消費の専門分野から意見を交わしてきました。2020 年 3 月末には検討会を通じて作り上げた「持続可能な生産消費形態のあり方検討会中間取りまとめ」が発表されました。その後、検討会から派生して「あふの環(わ)2030 プロジェクト」が立ち上がり、生産者や流通関係者、消費者など多様な立場の人たちが集まるプラットフォームができました。また「サステナアワード」という持続可能な消費と生産に取り組む実践者たちを表彰するアワードが作られ、代表末吉が第一回目の審査員を務めました。

(参考)サステナアワード 2020 公式サイト

https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kankyo/seisaku/being_sustainable/sa2020.html

<持続可能な消費生産形態のあり方検討会ワークショップ開催>

農林水産省の検討会である「持続可能な消費生産形態のあり方検討会」において末吉が委員を務め、その中で提案させていただいた「消費活動影響マップ」を検討するワークショップを 2020 年 2 月 25 日に開催しました。「持続可能な消費生産形態のあり方検討会」の委員の皆さまにご参加いただき、エシカル協会からは末吉と大久保が参加いたしました。

「消費活動影響マップ」とは、私たちが普段消費する商品がどこで作られ、どのように運ばれ、その経済活動が環境・人・社会にどのような影響を与えるのか、ということを考えるものです。具体的には、その商品が消費されることによる影響を、サプライチェーン(生産、加工、物流、小売、消費、廃棄/回収)ごとに、環境・人・社会の観点でマッピングしていくというものです。

ワークショップ当日は、「コンビニチョコレート」、「輸入牛肉」、「輸入家具」、「ハウス栽培いちご」をテーマに、参加者をグループ分けし討議を行いました。参加者の皆さんからは、「普段自分が消費するものが環境や社会にどのような影響を与えているか考える良いきっかけになった」、「テーマを変え、自分の組織でもワークショップを行いたい」など、前向きな感想をいただくことができました。

「影響をしっかりと考える」ことがエシカル消費の始まりであり、「消費活動影響マップ」はその考える第一歩になったのではないかと考えております。

<消費者庁との連携>

代表末吉は、2020 年度も 2019 年度に続き消費者庁主催の消費者思考経営優良事例選考会委員を務めました。下記のサイトより選考結果をご覧ください。

https://www.caa.go.jp/notice/assets/consumer_research_cms208_201218_1.pdf

<環境省との連携>

2017 年度から、代表末吉は環境省が主催する環境と社会により活動を応援する「グッドライフアワード」の実行委員を務めています。

(参考)グッドライフアワード公式サイト

https://www.env.go.jp/policy/kihon_keikaku/goodlifeaward/index.html

<文部科学省との連携>

ユネスコ(国際連合教育科学文化機関)は、諸国民の教育、科学及び文化の協力と交流を通じた国際平和と人類の共通の福祉の促進を目的とした国連の専門機関です。ユネスコ憲章前文の「戦争は人の心の中で生まれるものであるから、人の心の中に平和のとりでを築かなければならない」という一文は有名で、まさにエシカルの考えとも親和性が高いと言えます。

代表の末吉は、2018 年に日本ユネスコ国内委員会広報大使に任命を受け、ユネスコの目的を実現するために、日本のユネスコ活動の情報発信を行い、普及をしていく活動を行っています。ユネスコスクール訪問やユネスコスクール全国大会登壇などを通じて、未来そのものである子どもたちとともに、エシカルな社会の実現を目指しています。あいにく 2020 年はコロナ禍の影響で活動がほとんどできませんでした。

<東京都>

東京都消費生活対策審議会は、都民の消費生活の安定と向上に関する基本的事項、消費生活条例の実施に当たって必要とする基準などの作成、及び基本計画の策定などについて、知事の諮問に応じ調査審議し、答申をするために設けられた知事の附属機関です。代表末吉は、エシカル消費の専門家として、また消費者代表の立場として委員を務めています。東京都の消費生活基本計画の中には、「消費者教育の推進と持続可能な消費の普及」が政策として掲げられており、東京都によるエシカル消費普及のための多様な取組が実施されています。

東京都のエシカル消費サイト

<https://www.shouhiseikatu.metro.tokyo.jp/manabitai/ethical/>

2-6. 政府への提言

<2050年カーボンニュートラル・全国フォーラム>

2020年12月17日に首相官邸にて2050年カーボンニュートラル・全国フォーラムが行われ、消費や暮らしの側面から民間団体を代表して、末吉が参加をいたしました。

菅総理大臣のほかに出席なさった閣僚は、加藤官房長官、小泉環境大臣、梶山経産大臣、茂木外務大臣で、民間側からはアカデミアや産業界、金融界、若者団体など、各セクターから総勢10名の参加がありました。

2050年カーボンニュートラルを目指すために、エシカル協会として宣言をし、さらに政府に向けても提言をさせていただきます。

【エシカル協会の宣言】

私たちエシカル協会は、2050年カーボン・ニュートラルの実現に向けて、エシカル、サステナブルな製品やサービスを選ぶ消費者を育てていくために、国民一人ひとりの意識向上を図る。同時に、そういった消費を求める人々の声を企業や行政に届けることで、エシカルな製品やサービスを提供してくれる企業が増え、環境に配慮している良い事業者が後押しされるような制度が作られるよう働きかけていく。それによって、エシカルな暮らし方が幸せのものさしとなる、カーボン・ニュートラルが実現している持続可能な社会を作る。

協会の提言や宣言のさらなる詳細は、下記のサイトに掲載されていますので、ぜひご覧ください。

<http://www.cas.go.jp/.../carbon-neutral/dai1/gjjsidai.html>

今後さらに市民からこの動きを加速させ、カーボンニュートラルの実現に向けて、市民である私たち(消費者)がその原動力となるよう努めてまいります。



2-7. 法人会員制度

エシカル協会の法人会員制度は、エシカル協会の活動に賛同して下さる法人の皆さまを対象とした会員制度です。社会貢献活動のひとつとして、温かいご支援を心よりお待ちしております。人や地球環境、社会、地域に配慮した生産と消費を実現するエシカルな社会を構築するため、大切に活用させていただきます。法人会員様は、同じ志をもつ「仲間」です。弊協会ではその繋がりも大事に考えており、法人会員ミーティングなどを開催し、会員様同士の交流も積極的に図っています。

2021年3月末時点の法人会員様は、26社です。業種も規模も様々で、その多様性も彩り豊かな繋がりをつくり出していると思っております。皆さま一社一社が個性や強みを生かし、エシカルなビジネスや社会を構築しようと日々努力と試行錯誤をなさっていることにとっても勇気づけられ、活動に取り組む原動力になっております。とりわけ、2020年はコロナ禍において組織や事業の変革を迫られるような様々な影響が生じたかと存じます。そんな状況でも、変わらない温かいご支援を賜り、心より御礼申し上げます。今後も、皆さまと寄り添いながら、エシカルを普及させていくために邁進してまいります。

<法人会員様一覧(順不同・敬称略)>

株式会社 KAWAGUCHI / ミヤザワ株式会社 / 豊島株式会社 / 株式会社 わらわら /
グロースエクスパートナーズ株式会社 / 井関産業株式会社 / 株式会社 Borderless Creations /
株式会社 ビオスタイル / 株式会社 新英 / 株式会社 クラハシ / 花王株式会社 /
株式会社 トレードワークス / Mazza 株式会社 / ラクサス・テクノロジーズ株式会社 / 株式会社 山櫻 /
KUMADE 株式会社 / BONZA AUSTRALIA PTY.LTD / 東京サラヤ株式会社 /
株式会社 Innovation Design / 日本環境設計株式会社 / 株式会社 ハリズリー / 株式会社 the continue. /
株式会社 LUMIERE / 株式会社 サンダース・ペリー化粧品 / アインズ株式会社 /
特定非営利活動法人 ビューファ

ウェブサイト: <https://ethicaljapan.org/>

メールアドレス: info@ethicaljapan.org

